

岐阜県代協ニユ

平成23年10月

vol.199



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

季節はずれの桜の花が咲いた

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長 おおえ 大江 かねお 金男

毎年今頃になると桜の葉が落ちて小さな庭が落ち葉で一杯になり、柘榴の実がはせて真っ赤な中実をのぞかせます。

ところが、今年は少し様子が違います。柘榴は例年通りですが、桜（佐藤錦・サクランボ）は薄ピンクの花をつけ、青々とした葉っぱが芽吹いていてびっくり。あちこちで桜が咲いたという話を耳にしますが、まさか我が家の庭にも異変があるとは・・・。

今年は大型台風により全国的に大きな被害をもたらしました。県下でも多治見や可児、御嵩で浸水の被害や死亡者が出るなど、3.11 東日本大震災の津波を含め水の恐ろしさを感じさせられました。

水の被害は日本だけでなく、日本企業が多数進出しているタイのアユタヤでも大水害が出ています。地球温暖化が一因とも言われているようです。

昨年7月、私の住む可児市では集中豪雨により可児川が氾濫し、トラック28台、乗用車21台が流され、死者1名、行方不明者2名、床上浸水16戸、床下浸水13戸という水害が発生しました。

1年後の今年7月に全戸に可児市洪水ハザードマップが配布されました。これは今まであったものに昨年の洪水により一部修正がされたものです。10月には自治会発行の洪水ハザードマップも配布されています。

国土交通省では自治体に対し、洪水、内水、高潮、津波、土砂災害、火山などのハザードマップと地震防災危険度マップの作製を指示しています。地震防災危険度マップには揺れやすさマップ、液状化危険度、東海東南海地震などがあります。

自治体によっては御嵩町などのように亜炭鉱マップなど特殊なものもありますし、多治見市などのようにきめ細かく小学校区ごとの防災マップが作られている所もあるようです。

日本代協では損保協会が取り組んでいる小学生向けの「ぼうさい探検隊マップコンクール」への協力や、地域防災のリスクコンサルタントとして代協会員が役割を果たせることができるよう、洪水ハザードマップおよび地震ハザードマップ向け副読本「ハザードマップと一緒に読む本」の普及を呼びかけています。

岐阜県代協はこうした呼びかけに積極的に応えていきたいと考えています。

先日、愛知県代協で損保協会と「ハザードマップと一緒に読む本」の共同作成者の野村総研の担当者を招いての勉強会がありました。岐阜県から3人が参加させていただきました。

できれば岐阜県代協でも勉強会が実施できればと思っています。



目次

1 p・・・会長挨拶／目次	8 p・・・中さんの保険諸国漫遊記 (66) ①
2 p・・・スケジュール／事務局より	9 p・・・ ～ 保険ジャーナリスト ②
3 p・・・支部活動報告①	10 p・・・ 中崎章夫 ～ ③
4 p・・・支部活動報告②／委員会報告①	11 p・・・なるほど『ぎふ雑学』(31) ～松尾 一～
5 p・・・委員会報告②	12 p・・・SHINWA グループ
6 p・・・代理店紹介	13 p・・・損害事故復旧サービス ～ホームステップ(株)イケダ～
7 p・・・会員投稿記事	14 p・・・交通事故による損害復旧工事 ～(有)岐垣創建～
	15 p・・・ウェブサイト会員情報について／編集後記

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
10	5	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	6	木	県代協	秋のセミナー 東濃会場 (14:00～)	セラトピア土岐 大会議室
	7	金	損保協会	『盗難防止の日』キャンペーン(8:00～)	JP岐阜駅前、名鉄岐阜駅北側
	7	金	県代協	三役会(11:00～)	岐阜県代協事務局
	12	水	中濃支部	例会(10:30～)	太田宿
	13	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	21	金	県代協	『地震保険普及キャンペーン』	JP岐阜駅前
	23	日	県代協	『長良川を美しくしよう運動』(6:30～)	長良川右岸長良橋北詰辺り
	26	水	県代協	秋のセミナー 岐阜会場 (14:00～)	県民ふれあい会館 302 会議室
11	1	火	岐阜支部	役員会(12:00～)	岐阜県図書館
	2	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	8	火	日本代協	保険大学校セミナー(第13期生第4回)	ウインクあいち 902 会議室
	8	火	ゴルフ同好会	ゴルフコンペ(9:00～)	谷汲CC
	9	水	日本代協	保険大学校セミナー(第14期生第1回)	ウインクあいち 902 会議室
	9	水	県代協	役員選考委員会(14:00～)	岐阜県代協事務局
	9	水	中濃支部	例会(10:30～)	太田宿
	10	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	11	金	県代協	消費者団体懇談会	県民ふれあい会館
	16	水	県代協	三役会(11:00～)	岐阜県代協事務局
	18	金	日本代協	日本代協コンベンション	ヤクルトホール(東京・新橋)
	22	火	県代協	年会費諮問委員会(13:30～)	岐阜県代協事務局
12	3	土	東海ブロック	東海、北陸合同ブロック会	未定
	7	水	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター(予定)
1	12	木	県代協	認定証授与式&賀詞交歓会	グランヴェール岐山(予定)
	24	火	東海ブロック	東海ブロック協議会	愛知県代協事務局

～ 事務局より ～

※平成23年度年会費確認及び決定のため、順次、会員皆様の募集登録人数の確認をさせていただきますと存じます。
 おって、ご連絡をさせていただきますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※第12期保険大学校受講者(資格試験合格者)の方で、資格申請書等が未提出の方は早々にご手配いただき、県代協事務局までご送付下さい。
 (ご不明な点は、県代協事務局までお尋ね下さい。)

岐阜県代協教育委員会/事務局 TEL : 058-294-1221 FAX : 058-294-8051
 Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp

支部活動報告

【岐阜支部役員会報告】

開催日時 : 平成23年10月 5日(水) 12:00～
開催場所 : 岐阜県図書館 レストラン杏 出席者数 : 9名
報告者名 : 岐阜支部長 岩田 篤宗

《議題》

- ① 会員増強について……10月に、1会員入会予定あり。
- ② 次年度支部編成について……二つの支部に分けることに関して、準備期間が必要との結論。
来年度は、まずブロック会の回数を増やして、会員様とのかかわりを広く、強く持つようにしていく予定で提案をする。
- ③ 年会費について……意見交換、継続中。
- ④ 県からの報告……10月 7日 盗難防止キャンペーン、
10月21日 地震保険普及キャンペーン参加依頼。
※次回役員会は 平成23年11月 1日(火) 12:00～
場所 岐阜県図書館 レストラン杏にて

【西濃支部例会報告】

日時 : 平成23年10月5日(水) 11:30～12:30
場所 : 鶴見天近 参加者数 : 18名
報告者名 : 畦地 正治

《議題》

- ① 次年度役員選出について
 - ② 会員増強について
 - ③ 研修旅行の打ち合わせ 11月27日～28日予定 詳しい予定は後日連絡させていただきます。
 - ④ 火災保険利用の無料修理について
 - ⑤ その他各社の動向
- ※ 次回の例会は11月 2日(水) 12:00～ 場所 鶴見天近

【中濃支部例会報告】

日時 : 平成23年10月12日(水) 10:30～
場所 : 美濃加茂市 美濃太田宿 参加者数 : 11名 報告者 : 吉田 春次
《内容》

- ① 役員選考について……時間かけての話し合いになりましたが、個別に話していく事としました。
- ② 委員会報告……銀行窓販について、「公平でないと思われる募集行為」の報告
組織委員報告
- ③ デイラー対策、事故で、車両入れ替えで証券を提出させている事について
- ④ 10月26日代理店セミナー参加について
やや少なめの例会参加でしたが、意義ある会でした。

尚9月28日無保険車追放キャンペーンに10名も参加協力頂き御礼申し上げます。



※11月例会は、11月 9日(水) 10:30～ 美濃加茂市美濃太田宿にて行います。

【東濃支部例会報告】

開催日時 : 平成23年10月13日(木) 開催場所 : 釜戸 みわ屋

参加者数 : 12名 報告者 : 伊藤 智之

《内容》 ①10/6 セミナー報告 ②10/26 セミナー案内

③次期役員・幹事の選考 ④銀行窓販について

⑤地震保険について ⑥その他情報交換

※ 次回例会案内 11月10日(木) 11:30~ 場所:釜戸 みわ屋にて

【飛騨支部活動報告】

◎昼食例会報告

開催日時 : 平成23年 10月18日(火) 11:45~

開催場所 : 高山市、魚祭

出席者数 : 13名 報告者 : 成原 大介

《内容》

昼食冷BLESS記載の広告の件

秋のセミナーについて

地震保険普及キャンペーンについて



◎地震保険普及キャンペーン報告

開催日時 : 平成23年 10月18日(火) 13:00~

開催場所 : 地震保険普及キャンペーン JR高山駅前

出席者数 : 7名 報告者 : 成原 大介

《内容》

地震保険普及キャンペーンについて

地震保険普及のため、リーフレットティッシュを配布しました。

秋空の下、できるだけたくさんの方に配りました。



委員会報告

【CSR委員会】

① 『無保険車追放キャンペーン』について

9月28日(金)に今年度も2カ所にてパンフレットを配布いたしました。JR岐阜駅前では、国土交通省の方2名と岩田岐阜支部長はじめ、岐阜支部役員、会員8名の参加をいただき総勢10名にて、学校法人神野学園「中日本自動車短期大学」では、会長はじめ、中濃支部役員、会員10名のみなさまにご参加いただき、それぞれ約30分間程実施いたしました。

② 『盗難防止キャンペーン』について

10月7日(金)に岐阜支部役員、西濃支部役員、岐阜支部会員のみなさま併せて11名参加のご協力をいただき岐阜県警察署や日本損害保険協会みなさまとともに「盗難防止キャンペーン」に参加いたしました。上記キャンペーンにご協力をいただきました役員、会員のみなさま大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



無保険車追放キャンペーン(上) 盗難防止キャンペーン(下)

③東日本大震災義援募金の御礼

10月6日、秋のセミナー東濃会場（セラトピア土岐）において 東日本大震災義援金募金（4,421円）のご協力をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。10月26日開催の代理店セミナーにて募金のお願い後、日本代協へ送金予定です。

- ④10月21日（金）JR岐阜駅前にて実施の「地震保険普及キャンペーン」と10月23日（日）AM 6:30～参加の「第3回長良川を美しくしよう運動」については、次月号にて詳細報告させていただきます。
（報告者名：CSR委員会担当副会長 小林 悦雄）

【組織委員会】

【新入会員の紹介】

岐阜支部 東ブロック：（有）オフィスレーベン 代申 日本興亜
店主 石崎 洋 様
〒500-8358 岐阜市六条南 2-12-13
TEL 058-275-5009 FAX 058-275-5004
（平成23年10月17日入会）
紹介者 （有）オフィスイワタ 岩田 篤宗 様

【企画環境委員会】

平成23年度第二回企画環境委員会報告

日時：平成23年9月29日 11:30～13:00 会場：サイゼリア岐南店
報告者：小栗 孝一

《議事》

- ① 日本代協企画環境委員会、東海ブロック企画環境委員会との連携
- ③ 正な募集環境整備に向けた活動
- ④ 理店賠償への加入促進
- ③代理店賠償セミナーについて
- ⑤各支部報告

【教育委員会】

岐阜県代協 『秋のセミナー・東濃会場』を開催いたしました。

10月6日（木）土岐市土岐津町のセラトピア土岐 大会議室にて、『最近の保険市場環境の変化と今後のプロ代理店経営の展望』と題して、岐阜県代協ニュースに現在連載いただいております保険ジャーナリスト（有）ナカザキ・アンドカンパニー 代表取締役 中崎 章夫氏にご講演いただきました。

東濃でのセミナー開催は、平成21年度に企画いたしましたが、悪天候のため中止となりましたので、今回が初めての開催となりました。

中濃、東濃、飛騨支部よりのご参加を中心に、56名の方々にご参加いただき、軽快なテンポで楽しい雰囲気が進み、ご参加された方にも今後の代理店経営の参考になるセミナーになったのではないかと思います。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。



中崎 章夫 氏

※ 10月26日の岐阜会場の代理店セミナーについては次月号にて報告させていただきます。

（報告者 教育委員長 宇野 仁基）

代理店紹介

東濃支部 有限会社 ヤマモト企画

<代理店名>

有限会社 ヤマモト企画

<事務所所在地>

〒509-7201

恵那市大井町271-68

TEL 0573-26-1226

FAX 0573-26-5687

E-mail yamamoto_kikaku@yama-moto.jp



<代表者名>

山本 好作

<スタッフ>

2名 (男 1名、女 1名)

田口 友喜、安田 千穂

<取扱保険会社>

損保 三井住友海上・東京海上日動

計2社

生保 三井住友海上あいおい生命・アメリカンファミリー生命保険

計2社

<略歴>

昭和63年12月19日 山本石油グループの保険部門を分離し設立

<事務所の環境>

JR恵那駅から徒歩2分、山本石油グループ本社の一隅にあります。本体の山本石油はおかげさまで、今年創業100周年を迎えました。写真の通り建物は古い(築100年ではありませんよ)ですが、最新の情報を用意してお客様をお迎えしています。

<経営方針>

お客様第一
社会に貢献



会員投稿記事

- 連覇 -



※はじめにドラゴンズ以外のファンの方・・・すみません。

中日ドラゴンズ優勝。昨年に続き 2011 年もリーグ優勝で、ドラゴンズ史上初めての連覇！
さすがにドラゴンズファンにはたまらないニュースです。

私は祖父から続くドラゴンズファン3代目。今朝コンビニでスポーツ紙4紙も買ってしまいました。
今年は、落合監督の退陣がシーズン途中で発表があり、その後の13連戦で選手も奮起し見事優勝を成し遂げました。

よく試合の中でも、監督が退場させられ奮起し逆転勝ちするシーンをよく目にします。

奮起し皆で頑張っている姿というのは、ファンでなくても心打たれます。

その落合監督の「オレ流」という言葉はどこからきたのか、少しご紹介したいと思います。

1979年、プロ入り当時のロッテの監督、山内一弘がレベルスイングの本尊といえる人物でもあり、
アップスイングだった落合のバッティング・フォームの矯正に取り掛かった。

「ホースで水を撒く感じで打つ」などのアドバイスを貰ったものの、落合自身は後年「当時の自分には山内さんの高度な打撃理論が理解できなかった」と述べている通り、山内から教わった打法ではボールが前に飛ばない状況であった。

その為、ベテラン捕手・土肥健二の非常に柔らかいリスト（手首）を使って、ボールをはじき返すフォームに注目しそれを真似し、我流のフォーム改造を狙った。

このことが落合がオレ流と呼ばれる所以だそうです。

自分だけの、独自の・・・「オレ流」カッコいい言葉です。

(投稿者：ドラゴンズファン)

タブレット端末導入で変わる代理店営業現場

◇岐阜代協秋季セミナーで土岐、多治見初訪問

岐阜県東濃地区にある土岐、多治見に行ってきた。美濃焼（志野、織部、黄瀬戸、瀬戸黒）などの陶磁器の街である。山を隔て愛知県側には瀬戸焼の瀬戸があり、セトモノとして全国的に有名だがその陰に隠れて発展してきた。今では国内和洋食器の半数以上を占める一大窯業地域である。最近では中国など海外からの攻勢もあり、苦境に。多品種少量生産や高付加価値戦略あるいは独創的な創作活動、ニューセラミックの強化で活路を探る。いずれの業界も大変である。

この秋も国際陶磁器フェスティバル美濃も10月14日から10日間、土岐市産業振興センター・セラトピア土岐で開催される。今回はこのセラトピア土岐での岐阜代協秋季セミナーで尋ねた。晴れ渡った秋空に山間の街はいたって長閑（のどか）であった。1階に美濃焼等の展示販売コーナーがあり、記念に気に入った美濃焼の大きめのぐい飲みを1個購入した。

◇ご当地名物の鶏ちゃん焼きは実に美味

夜は多治見に移動、居酒屋では、参加メンバーのうち車を運転してる方が多く、アルコール派はむしろ少数、メニューもソフトドリンクが実に充実している。もんじゃ焼きも美味かったが、鶏肉にナスや玉ねぎといった野菜を味噌で鉄板焼きして食べる「鶏ちゃん焼き」が実にうまかった。聞けば飛騨、美濃地区の郷土料理で、もとはジンギスカン料理で、羊の代わりに鶏が普及し、名前も鮭のチャンチャン焼からきているとも言う。締めうどんもまたいい味となる。

飲んだ後の最後の締めは、地元の方に案内された漢方ラーメン渡辺。健康志向か、鶏ガラのスープに白ゴマ、高麗人参、干し海老、干し貝柱、クコの実などが入っているという。色は坦々麺のように赤め、独自のラー油、黒ゴマが入る。これで500円は安い。チャーシューと小ライスも。この時間の追加チャーシューは余計だった。思ったより淡泊な味で健康にもよさそうなのがいいが、飲んだ後の一杯は果たして...

◇タブレット端末を符丁のごとく取り出し・・・

それにしても、この地でご一緒した代理店の方々はみなiPadなど今はやりのタブレット端末を持っている。符丁のごとくそれを出し合って、その場で和気あいあい、操作の仕方やFacebookのやり取りなどしている。コミュニケーションツールとしてのその普及ぶりには正直驚いた。

翌日家に戻ってからアップルのスティーブ・ジョブズ氏の死去の報に接した。かつてはマッキントッシュの出現に大感激しMac愛好家を持って任じていただけに一時代の終幕そして、iPodまでは追えたが、あまりに広がってしまったその距離感を実感せざるを得ない。改めて革新魂でMac、iPod、iPhone、iPadを世に送りアツと言わせ、アメリカンドリームをかなえた。しかも技術信仰や独断に走りすぎず、個人ユーザーが待ち望む夢のある製品開発にこだわり続け、頑固一徹を貫いた。次代の担い手たちに自分の道を信じ、夢をあきらめるな、愚直に進めとばかりに「ステイハングリー ステイフーリッシュ」（飢えている、馬鹿でいる）という含蓄ある言葉を遺した。



◇損保大手が相次ぎタブレット端末の営業投入へ

このような岐阜でのタブレット端末ブームにもそれなりの背景があった事に間もなく合点した。損保大手が相次ぎタブレット端末の代理店の営業現場投入を決めるとの発表があったからだ。なーんだ、それを見越して動いていたわけか。

損保各社では、これまでも携帯用パソコンを活用しての契約手続きなどを試行実施してきたが、操作性その他で必ずしも現場に定着していない。そんな中で注目されたのが、軽量・ハンディーでタッチパネル画面

を採用、快適かつ楽しい操作性が受けコミュニケーションやプレゼンテーションツールとして急速に普及が進むスマートフォンやタブレット端末で、ここにきて損保大手が相次いで顧客接点を受け持つ代理店営業での活用に踏み切る。新たな情報ツールの登場が保険代理店の営業を変える事は間違いない。それを強烈に印象付ける動きである。

9月26日、東京海上日動は、来年4月から代理店にタブレット端末を活用した契約手続き「らくらく手続き」を導入すると発表した。また10月11日、今度は三井海上火災が本年11月から、日本マイクロソフトの協力を得て契約手続きをすべてウインドウズ7搭載のタブレット端末上で完結できる新しいシステムを発表した。他の損保も導入方向で検討中のようで、顧客接点でのタブレット端末を活用した契約手続きやプレゼンテーションは一気に進む気配となってきた。すでに代理店レベルでもそれに慣れようと、前倒してタブレット端末を導入するケースが増えてきており、営業スタイルも一変しそうである。また10月3日からあいおいニッセイ同和は、自動車保険契約者対象のロードアシスタンスサービスについて、従来からの携帯電話での「GPS-i 位置情報通知システム」と「聴覚障がいのお客さま向け Web ロードサービスシステム」につき、スマートフォン (i-phone や android) を活用したサービス提供を開始した。

◇東京海上日動は来年4月「らくらく手続き」開始

東京海上日動のペーパーレス契約手続き「らくらく手続き」は、自動車保険加入時の保険料試算・商品説明・申込み等をタブレット型端末やパソコンの画面上で行うペーパーレスの契約手続きで、あわせて、保険料のクレジットカード払いの利便性向上のため、「電子クレカ手続き」(ネット上の専用サイトでクレジットカードの登録を行う仕組み)を導入する。また、これまで代理店事務所のパソコンからのアクセスに限定していた代理店システム「TNet」について、タブレット型端末やスマートフォン等からのアクセスも可能とし、いつでもどこでも代理店業務(お客様対応)を行えるよう「マルチデバイス対応」を実施する。

完全ペーパーレスの契約手続きとすることで、申込書類の紛失・盗難による個人情報漏えいのリスクを極小化する。端末内にお客様情報を保存しないため、万が一端末が紛失・盗難にあった場合でもお客様情報の漏えいは発生しない。

同社は昨年度より「タブレット型端末を活用した保険のご案内」等、お客様の利便性向上に向けて取り組んできたが、今後は自動車保険以外の保険商品にも「らくらく手続き」の拡大を図っていく。

◇11月上旬スレートPCで先行三井住友海上

三井住友海上火災は、本年11月上旬から自動車保険と火災保険の保険料の見積もり、契約内容の確認、契約時の署名など、契約手続きをすべてタブレット端末上で完結できる新しいシステムをスタートさせる。新しいシステムは、契約の完全ペーパーレス化を実現するとともにオフラインでも手続き可能な機能を有しており、通信環境を問わず契約手続きができる。

システム導入にあたっては、タブレット端末にセキュリティに優れたWindows7搭載のスレートPCを採用するなど、日本マイクロソフトの協力を得た。

オフライン環境でも動作可能なため、電波状況を気にすることなく使用が可能。同社ではこれまでも、ノートPCを利用した契約方式を導入するなど顧客の快適性・利便性の向上に努めてきたが、今回のシステム導入により、さらに顧客に対し分かりやすく簡便な契約手続きを案内することが可能になった。今後、現在ノートPCを使用している約1万店の代理店、3万人の募集人に加え、今までPCを使用していなかった代理店にもタブレット端末の導入を推奨していくとしている。

◇代理店の営業現場は一変する

損保の営業現場にタブレット端末やスマートフォンが導入されると、現場の営業シーン、顧客との接点での対応はどのように変わっていくのだろうか。タブレット端末の持ち味は、文字が読みやすい大きさにすることが可能で、顧客自らが画面にタッチして体験・確認できる新鮮さとフレンドリー性もあるので老若男女向きであるのもよい。動画などの活用も可能なことから、電子パンフレットの持ち味を生かすことで、紙のパンフレットなどでは得られなかったプレゼン効果を追求できる。すでに損保のみならず生保でも対応ソフト開発にも拍車がかかっている。代理店の営業スタイルも一変しそうである。場所を選ばず、代理店事務所と同じサービスの提供ができるようになるため、究極の営業効率化とも言われる現場接点での代理店の契約手続き業務の完結が可能となるなど、代理店の営業革新につながる。人とのつながりの強化に向けて今後どのような新たな展開が出てくるのか楽しみでもある。本当にすごい時代が来たものである。

◇損保の代理店支援の布陣も大きく変化

損保会社の人事政策も様変わりである。国内需要の落ち込みが人口減少（性格には生産年齢人口減少と高齢者人口の急増）という社会構造に由来するものであり、また損保収益構造の著しい悪化から、損保経営も大胆な事業構造転換を求められている。このため、国内事業の効率化と新たな成長分野として国内新市場開拓と生保、海外市場への展開に経営資源を集中させる戦略が明確になりだしている。

こうした中で、経営構造改革の一環として、人事政策の思い切った転換が始まっている。国内損保市場は縮小化の中で、自動車保険はじめ、事業収益改善施策を相次ぎ打つか傍ら、営業や損害サービス、システム、管理部門など全面的な人員配置の見直しにも着手している。新規の人員採用は、おおむね半分以下に極端に削減しつつあるほか、女子社員の営業現場への積極投入、営業現場の男子社員の人材再開拓も進められつつある。代理店への業務支援の定型業務には女性の担当者を派遣することが当たり前になりつつある中で、男子社員には、スーパーバイザーのような経営支援能力が求められるようになるだろうが、少数精鋭で済むだけに多くの営業第一線の男子社員の再活用先探しは各損保の目下の懸案となっている。

◇損保社員の進路選択の多様化

人材を必要としているのは海外、生保部門とともに、組織化を求められる代理店ビジネスである。海外で活用するためには外国語の習得が不可欠になる。おそらく今後の新人養成ではこうした外国語が必修になることは間違いない。損保もこれからは銀行のようにグループ内の多様な事業に回されることを覚悟しておいた方がよい時代となってきた。かつては保険会社の社員から代理店に転ずるケースは極めてまれであったが、今や、保険会社ベースで資本も人材も出す直資型（子会社）モデルの代理店を強化し、この事業に人材を本格投入する一方で、一定のマーケットをつけて直接代理店の担い手を試みるコースも検討しだしている。

欧米では、保険会社で一定経験を積んだ若手が、代理店やブローカーに転ずるコースが用意されている。しかも日本の研修生制度のように顧客ゼロベースからの垂直立ち上げというスタイルではなく、200～300の顧客を持たせて、いかにイニシャルの顧客基盤を強化・拡大させていくかの能力を求めるスタイルをスタンダード化している。日本においてもそろそろ次代の代理店事業家育成のスタイルを変更してもよい頃合いだろう。また保険会社の社員が、真に顧客との関係を築き得るか、すぐれて人間力が問われる商売だけに、コストカットや余剰人員対策などというご都合主義的な人員配置等の生半可なトップダウンの試みでは成功は覚束ないし、顧客の支持をとりつけるのは困難なことは言うまでもないだろう。代理店業というのは顧客を気遣う、豊かな想像力の裏打ちが必要な仕事だから。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)

ホームページ（ウェブサイト）作成します。

岐阜県代協様リニューアルサイト作成中！

面倒な更新・管理もおまかせください。



パソコンに関すること、何でも気軽にご相談ください。

お電話一本、出張サポートもいたします。

Bits(ビッツ)

電話 058-215-7337

(9～22時：出張はこの限りではありません)

JR西岐阜駅 北100m



岐阜の柿 三題

「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺 正岡子規

秋といえば柿である。柿は町にも集落や古寺、そして裏山と、日本の原風景に似合いすぎるほど似合う。

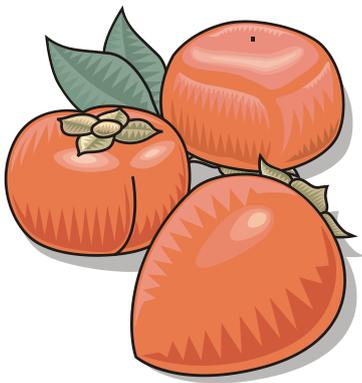
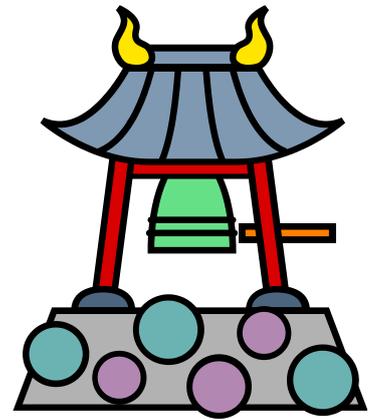
甘柿の代表は、なんといっても富有柿であろう。高いものは東京では1個数百円もするという。在来種の居倉御所柿のうち一本が、味、大きさ、色が優れたことに注目した居倉の福島才治が、接ぎ木して増やして、明治32年（1899）開催された岐阜農会や、明治36年の関西府県連合共進会に出品したところ評判となり、「富有柿」と命名したという。

大正から昭和にかけて栽培農家も増加していき、中には生糸の暴落のため養蚕から柿栽培に替えた農家もあり桑畑が柿畑になっていった。そういったなか田中栄助や松尾松太郎のように指導や奨励に尽くした人物もでてきた。

柿の生産が盛んになっていくと水田に柿の苗木を植えていったため、稲作農家からは、「大切な水田を潰すなんて」と言われたという話も残る。

富有柿は旧糸貫町の「町の木」に選定されており、原木は瑞穂市の天然記念物に指定されている。また岐阜県富有柿振興大会を記念して昭和47年（1972）「富有柿発祥の地」の石碑が建立された。

富有柿は岐阜や西濃地方で生産されているが、現在、トップの座は大正時代から栽培している福岡県となっている。



連柿は、山県市の伊自良地区で戦前から主に自家消費として始まったが、戦後に市場に出され拡大していったという。伊自良大実柿という渋柿の皮を剥き横一列に竹串に三個刺し、それを十列分ほど紐でくくり、それを一連として数十連を2段3段と重ね暖簾のごとく干すのである。

栽培農家の軒下などに長い暖簾のごとく柿が干されて見事な景観となり、カメラマンの絶好な被写体となっている。一連（30個）数千円で、主に正月の贈答品用として売られている

堂上蜂屋柿は、かつてこの地の「蜂屋太夫」が源頼朝に献上したから、この地を「蜂屋」にしたからという伝承がある。もっとも、中家（なかつや）が蜂屋と転化していったという説もある。それはともかく千年の歴史を持ち信長、秀吉、家康と時の権力者に献上されていたという由緒も持っている干柿なのである。

明治33年（1900）のパリ万博で銀杯、明治37年のセントルイス万博では金杯を受賞したが、のち養蚕が盛んとなり、一時、生産は減少したが、戦後、見事に復活をとげて平成19年、食の世界遺産といわれる「味の箱船」（本部イタリア）に岐阜県で始めて選定されている。価格は1個千円近くのものもあり、しかも予約販売が大半だといひ、まさに王者の風格がある干柿なのである。原木は美濃加茂市蜂屋にある。



（まつお・いち） ライフワークは地域史（近世交通史）著書は『やっぱ岐阜は名古屋の植民地!?!』『北陸街道紀行』等多数

SHINWAグループの愛車メンテナンス教室 V o 1 . 1

SHINWA グループ 会長 伊藤 彰浩

平素は SHINWA グループにご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、今回は車についてのさまざまな疑問にお答えし、会員の皆様に豊かなカーライフをご提供できるようお役に立てればを目指してのシリーズとして、お車のお手入れ編 V o 1 ・ 1 をご紹介させていただきます。

今回は、皆様大切にされています愛車のお手入れについて、耳よりの情報？をご案内させていただきます。大切な愛車、いつもピカピカのままだったらいいですよね・・・でも雨降りの後は必ずといっていいほど、愛車に嫌な黒い筋や黒っぽい車には白ボケたよごれが多く付着しているのをご覧になったことがあると思います。

そうです、水垢です!!! 洗車してもほとんど取れないのではないですか？ せっかく洗車してワックスを施工したり、コーティングしたりしてあるのにどうして??と思われたのでは??

実は、車に付着してしまう水垢は油なのです。多くのワックスやコーティング材には、輝きを出すために油性成分が含められているのです。この油性成分が雨で分離して流れ出し、その上にほこりなどを吸い付け、どんどん分厚いヨゴレとなり、ネバネバになるのです。だから水洗いだけでは落ちないのです。

でも、車のボデーには輝き艶を出すためにワックスやコーティング材が定番で、その撥水効果が車を保護している基準のように考えられています。(ほんとは撥水は車を汚さないためにはほとんど役に立っていませんが……)だから仕方ないのです。。?ん?? いいえ、そんなことはありません。使用材料をよく吟味すればヨゴレは付着しづらいのです。それは撥水系ではなく、撥油系コーティング材を塗布しておくともヨゴレが付着しても洗車だけでもきれいに落ち易いのです。もちろん 100%ではないのですが、試す価値は十分あると思いますので、一度お試しください!!! SHINWA グループは、代理店の皆様、そして契約者様のメリットを常に考えての情報や新たなご提案が提供できるよう日々努力して参ります。

SHINWAグループ13社の連絡先	TEL	FAX
オートボデーショップ篠田 (大垣以西)	0584-74-7892	0584-74-7833
平野钣金工業 (岐阜市南西部・羽島郡)	058-271-0773	058-271-0784
オートサービスイトウ (岐阜市北西部・瑞穂)	058-327-7167	058-327-2708
名和自動車工業 (岐阜市東部・各務原)	058-245-0261	058-245-0262
和田钣金工業 (岐阜市中西部)	058-251-7065	058-251-7095
AUTOPIT羽島钣金 (羽島市以南・愛知北西部)	058-392-1521	058-392-1520
成田钣金工業所 (多治見市)	0572-22-5456	0572-24-2244
東美自動車 (中津川市)	0573-68-3126	0573-68-3125
リフレッシュセンター渡辺 (瑞浪市)	0572-68-0980	0572-68-0982
カトー自動車工業 (可児市)	0574-62-3207	0574-62-3246
糸貫自動車 (本巣市)	058-323-1251	058-323-0753
米野自動車工業 (下呂市)	0576-25-2549	0576-25-4109
オートリペアカワシマ (岐阜市北部・山県市)	058-232-4185	058-232-4108



車のことはどんなことも、SHINWA グループ各社にご相談ください。

損害事故復旧サービス

< 今月の復旧事例 >

車が街路灯と、車止めに追突 街路灯は根元が曲がり危険な状態、車止めも根元破損させてしまいました。街路灯、車止めはその日の内に解体撤去、震災の影響で街路灯のポールの入荷が遅れましたが、ポールの入荷と同時に、復旧できました。

< 場所 > 岐阜市茜部

< 費用 > ￥1,260,000- (税込)

被害状況

復旧後



☆季節のリフォームカレンダーを掲載します。ご参考になれば幸いです。

リフォーム・カレンダー

11月

12月

▼1日 <文化の日> ▼15日 <小雪> ▼1日

【冬に向かっての準備】

浴室など水廻りのチェック / 部屋の模様替え

【この時期に適したリフォーム】

屋根工事 / フロアー修繕 / 台所・浴室・便所などの大改装工事
お気軽にご相談下さい。

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株) イケダ**

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

交通事故による損害復旧工事

No.0099

京都府左京区地内

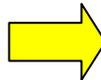
コンクリートボラード復旧工事

復旧工事費用

1,680,000円

作業前

作業完



- * コンクリート製車止めの損害復旧工事です。
- * 既製品の車止めが廃盤の為、石加工をして車止めを製作しました。
- * 交通量の多い幹線道路の為、夜間工事となりました。

夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。

Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする

24時間・年中無休の安心対応

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

E-MAIL giensouken@vega.ocn.ne.jp

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

ウェブサイト会員情報について

広報機関誌委員会では、オフィシャルウェブサイトのリニューアルを進めております。つきましては、ホームページ (<http://hokendaikyo-gifu.org/>) にアクセスいただき、会員様の名簿情報のご確認をお願い致します。(以下、ご確認ページの例) メールアドレス、会員様のホームページ URL など記載事項のご確認をお願い致します。修正がある場合は、11月15日(火)事務局までにご連絡願います。

● 代理店を探す

支 部	岐阜支部
事業所	(有)トライ
住 所	〒502-0912 岐阜県岐阜市西島町8-10
電話番号	058-231-5711
FAX	058-231-5721
Eメール	tri@ccn3.aftaine.jp
ホームページ	
日本代協認定保険代理士資格	有

会員情報 (有トライ様の例)

なお、新しいオフィシャルウェブサイトの正式公開は12月1日の予定です。

広報機関誌委員会 副会長 笠城 茂
委員長 川島 邦夫

編集後記

10月も半ばを過ぎ、色づいた葉が秋の訪れを感じさせる中、高崎市では30℃を超える真夏日を記録したとか…。

西日本をはじめ、地震の被災地や台風の被災地でも季節外れの桜の開花が話題になったそうですね。

今年は、日本だけでなく世界各地で大規模な自然災害が頻発しています。

今年もあと2ヶ月ちょっと。これ以上の災害が起きないことを祈るばかりです。

(大野)

発行日／平成23年10月25日

責任者／大江 金男 発行／広報機関誌委員会

〒502-0912 岐阜市西島町8-10 Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051

E-mail : gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp <http://www.hokendaikyo-gifu.org/>

【編集室メンバー】笠城 茂、川島邦夫、北村篤俊、大野 広、後藤益充、野村幸弘、伊藤智之、成原大介、大江金男、小西恭弘、森 信彦